

第 2 期九戸村ふるさと振興戦略 (2021～2025 年)

2021 年3月

岩手県九戸村

[目 次]

第 1	ふるさと振興戦略の目的	2 頁
第 2	九戸村の現状と課題	3 頁
1	歯止めがかからない人口減少・少子化	
2	年少人口、生産年齢人口の減少抑制が最重要課題	
第 3	ふるさと振興戦略の基本的な視点	4 頁
1	第 3 次九戸村総合発展計画を戦略的に推進	
2	ターゲットを定め実効性ある施策	
第 4	基本方針	5 頁
1	5 年後の推計人口をいかに嵩上げするか	
2	九戸村に移住定住を促進したい対象者	
3	九戸村で出産・子育てを促進したい対象者	
第 5	推進施策	7 頁
1	住環境の整備	
2	仕事の創出	
3	出産・子育て支援	
4	若者交流・結婚支援	
5	移住者生活支援	
6	高校の魅力化・生活支援	
7	情報発信	
	参考資料	9 頁

第1 ふるさと振興戦略の目的

2014年（平成26年）11月、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口減少著しい地方を活性化し、東京一極集中の是正に取り組みこととしました。

同法においては、市町村においても、地域の実情に応じた地方創生の基本的計画を定めるよう求めており、九戸村では、2016年（平成28年）3月に5か年間の「九戸村ふるさと振興戦略」を策定し、雇用機会の創出と人口減少対策に取り組むこととしました。

このたび、同戦略が2020年度（令和2年度）で期間満了となることから、改めて第2期の振興戦略を策定するものです。

第2 九戸村の現状と課題

1 歯止めがかからない人口減少・少子化

九戸村の居住人口は、2021年1月末現在の住民登録者数で5,604人と約11年前から1,095人（16.3%）減少しました。年少人口（14歳以下）は205人（28.9%）、生産年齢人口（64歳以下）は1,037人（28.0%）減少しています。

【九戸村住民登録者数】

区分	2010. 3	2015. 3	2021. 1	増減 (2010→2020)
年少人口（～14歳）	710	639	505	▲ 205
生産年齢人口（～64歳）	3,702	3,283	2,665	▲ 1,037
老年人口（65歳～）	2,287	2,293	2,434	147
（高齢化率）	34.1	36.9	43.4	9.3
九戸村総人口	6,699	6,215	5,604	▲ 1,095 (▲ 16.3%)

また、国勢調査結果を基にした人口推計では、10年後の2030年には、九戸村の人口は4,141人と、1,148人（21.7%）減少するとのデータが出ています。特に、年少人口（14歳以下）は30.6%、生産年齢人口は28.7%減少すると見込まれています。

【九戸村人口推計】 ※国立社会保障・人口問題研究所資料引用

区分	2020年	2030年	増減	増減率
年少人口（～14歳）	532	369	▲ 163	▲ 30.6
生産年齢人口（～64歳）	2,400	1,712	▲ 688	▲ 28.7
老年人口（65歳～）	2,357	2,060	▲ 297	▲ 12.6
うち後期高齢者（75歳～）	1,306	1,378	72	5.5
九戸村総推計人口	5,289	4,141	▲ 1,148	▲ 21.7

2 年少人口、生産年齢人口の減少抑制が最重要課題

年少人口、生産年齢人口の減少は、九戸村に大きな影響を及ぼすことが予想されます。児童・生徒数の減少により、学校そのものの存続が難しくなります。商工業や農林業、建設業や保健福祉サービスなど、村内の各産業分野の人手不足は顕著となり、消費人口減少により商店・飲食店等は廃業を余儀なくされます。納税額も減少し、地方交付税等の支援も目減りし、九戸村を持続させることが困難になっていくことが想定されます。

将来的にも持続可能な村としていくためには、年少人口の減少を抑制することが重要であり、そのためには、生産年齢人口、特に39歳までの出産適齢人口の減少抑制が何よりも求められます。

第3 ふるさと振興戦略の基本的な視点

1 第3次九戸村総合発展計画を戦略的に推進

今回、2021年3月に策定する第3次九戸村総合発展計画において、村内の人口減少と少子化を抑制するため、定住人口拡大をめざし、「誰もが住みたい、住み続けたい九戸村」をめざす姿として掲げました。

本戦略では、同計画の具体的な推進向け、定住対策と少子化対策に特化した具体的な取組を戦略的に推進することを目的とします。

2 具体性・実効性ある施策を展開

第1期の九戸村ふるさと振興戦略においては、村内の人口減少等の現状把握を行い、基本目標や取組施策を掲げましたが、戦略がめざす人口減少対策、少子化対策に十分効果を発揮したとは言えません。

このため、第2期戦略においては、人口減少及び少子化を抑制するための施策を具体的かつ強力に推し進めることをめざします。

第4 基本方針

1 5年後の推計人口をいかに嵩上げするか

九戸村の人口推計では、5年後に▲577人（▲10.9%）とされており、その中で、特に年少人口と生産年齢人口の減少をいかに抑制するかが重要となっています。

【九戸村人口推計】 ※国立社会保障・人口問題研究所資料引用

区分	2020 年	2025 年	増減	増減
年少人口（～14 歳）	532	453	▲ 79	▲ 14.8
生産年齢人口（～64 歳）	2,400	2,000	▲ 400	▲ 16.6
老年人口（65 歳～）	2,357	2,259	▲ 98	▲ 4.2
九戸村総推計人口	5,289	4,712	▲ 577	▲ 10.9

2 九戸村への移住定住を促進したい対象者

全国的に、地方創生施策の柱として、移住対策を各市町村とも掲げていますが、単に「田舎暮らし」をPRするだけでは、必ずしも移住の拡大につながるものではありません。NPO法人ふるさと回帰支援センターの2019年データでは、移住者が最も多い県は、長野県、広島県、静岡県の順であり、東京からの近さや土地のイメージが奏功していると言われており、第2位の広島県は、働き方を前面に出した結果だと評価しています。

岩手県は、残念ながら地理的にも移住イメージとしても、必ずしも目立っている県ではありません。さらに、その岩手県内で九戸村の知名度は十分とはいえないところが現状です。

このため、まずは、現実的に定住の可能性の高い対象者を絞りつつ、その成功事例を踏まえ、その他の対象者にも広げていくことが必要と考えます。

このことから、次のとおり対象者を明確にした定住促進を図ります。

【定住促進対策】

	対象者	定住促進の方向性	備考
(1)	村外に居住し九戸村内に通勤する社会人	【住環境の整備】 快適・廉価な住宅、新築用地を提供 【情報発信】 九戸村居住のメリットをPR （税、サービス、子育て）	768 人が村外から九戸村に通勤（2015 年国調）
(2)	隣接市町村に居住し就労中の社会人	【住環境の整備】 快適・廉価な住宅、新築用地を提供 【仕事の創出】 九戸村内でやりがいのある仕事を提供 【情報発信】 九戸村居住のメリットをPR	770 人が村内から周辺市町に通勤（2015 年国調）

(3)	就職・就業を希望する 九戸村周辺出身者（高 校・大学・社会人）	【仕事の創出】 九戸村内でやりがいある仕事を提供 【若者交流】 若い世代の交流活動を促進	
(4)	こだわりを持って田舎 に住み働くことを希望 する若い世代	【仕事の創出】 九戸村内でやりがいある仕事を提供 ①地域おこし協力隊受入拡大 ②新規農業者・林業者受入拡大 【住環境の整備】 単身世帯を含めた住宅の提供 【生活支援】 他地域移住者への生活サポート強化	
(5)	村外の中学生の伊保内 高校入学	【高校の魅力化】 伊保内高校入学希望を増やすための 対策強化 【生活支援】 学生寮などの受入態勢の充実	

3 九戸村で出産・子育てを促進したい対象者

九戸村に住む若い既婚世代の減少が少子化に拍車をかけています。このため、村内への定住促進と併せ、村内で出生者数を増やすための対象者を明確にした少子化対策を推進します。

【少子化対策】

	対象者	少子化対策の方向性	備考
(1)	九戸村に居住する出産 適齢期の既婚世帯	【出産・子育て支援】 ①出産・子育てに要する費用を支援 ②出産・子育ての支援態勢を強化	20～39 歳村内居 住者 200 人※独 身含む (2015 年国調)
(2)	隣接市町村に居住する 出産適齢期の既婚世帯	【住環境の整備】 快適・廉価な住宅、新築用地を提供 【仕事の創出】 九戸村内でやりがいある仕事を提供 【出産・子育て支援】 出産・子育て支援を PR	
(3)	九戸村に居住又は通勤 する出産適齢期の独身 者	【結婚支援】 ①若い世代の交流活動を促進 ②若い独身者の結婚サポート強化	

第5 推進施策

上記の基本方針を推進するため、次の施策を展開します。

1 住環境の整備

No.	区分	推進施策	備考
(1)	整備計画	● 村内の住環境整備の年次計画を作成	
(2)	村営住宅	● 村営若者定住促進住宅を増築 ● 入居条件の見直し ● 転入者支援拡充（新婚世帯転入支援）	
(3)	公共住宅	● 教員住宅、診療センター公舎の活用	
(4)	民間アパート	● 民間アパート増築促進（村の借上げ）	
(5)	空き家	● 空き家リフォーム支援を拡充 （子育て世帯の転入）	
(6)	新築住宅	● 新築用地のマッチング支援 （民間関係者と研究会） ● 土地利用規制の解除支援	

2 仕事の創出

No.	区分	推進施策	備考
(1)	企業雇用	● 立地企業の事業拡大を支援 ● 立地企業の雇用確保と定住をマッチング支援	
(2)	3セク雇用	● ふるさと振興公社の事業拡大 集出荷・加工・販売を強化し雇用増	
(3)	地域おこし協力隊	● 全国から協力隊を募集	R3～9 名 （予定）
(4)	新規農業者育成	● ナインズファームを建て直し 全国から農業希望者を募集 ● 畜産版ナインズファームを検討	
(5)	新規林業者育成	● 林業版ナインズファームを検討 資源循環型林業モデルの構築	

3 出産・子育て支援

No.	区分	推進施策	備考
(1)	出産助成	● 村単独助成制度（出産一時金超過分） ● 出産祝い金拡充（第1子から）	
(2)	子育て費用助成	● 保育費・医療費・給食費無料化 ● 村単独子ども手当制度（中学生以下）	

(3)	子育て支援体制	● 子育て支援センター創設 ● 子育てサロン充実	
-----	---------	---	--

4 若者交流・結婚支援

No.	区分	推進施策	備考
(1)	若者交流活動	● 若者交流イベントの企画・実施 若者企画委員（仮称）の推薦・出席	
(2)	結婚支援	● 婚活おせっかいボランティア（仮称）の委嘱等	

5 移住者生活支援

No.	区分	推進施策	備考
(1)	生活サポート	● 移住・転入者の相談窓口を設置	
(2)	コミュニティ形成	● 地域住民との連携機会を支援	

6 高校の魅力化・生活支援

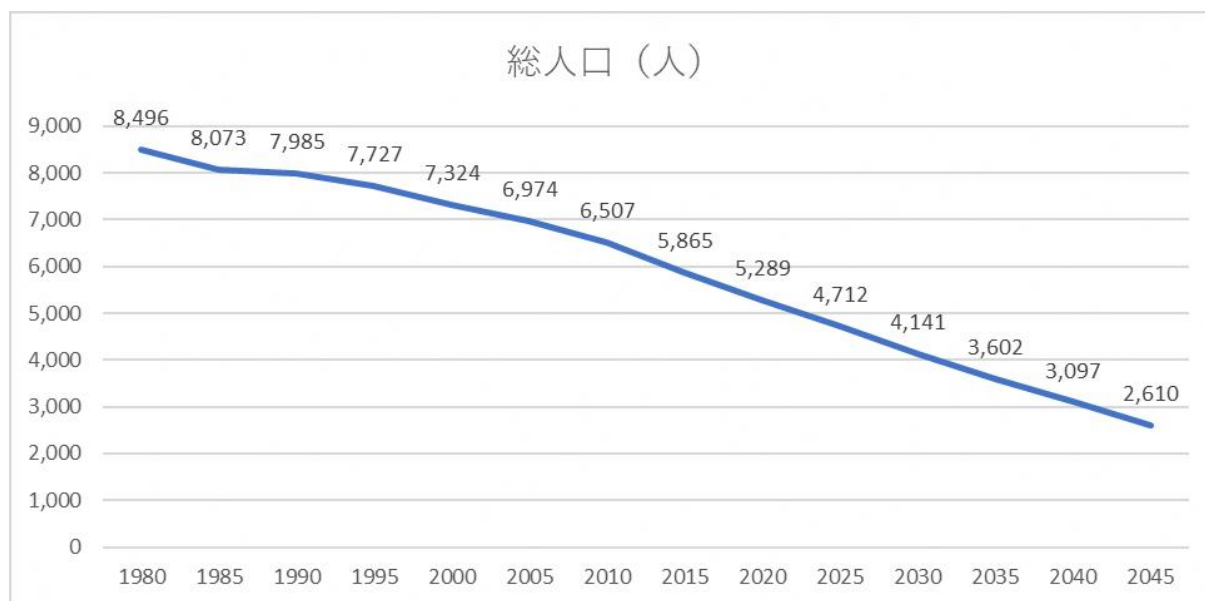
No.	区分	推進施策	備考
(1)	入学支援	● 村奨学金制度、制服代助成、通学助成	
(2)	進学支援	● 公営塾開設、夏季集中講座	
(3)	活動支援	● 地域活動支援	
(4)	生活支援	● 学生寮の整備を検討	

7 情報発信

No.	区分	推進施策	備考
(1)	集客交流	● 九戸村内でイベント等開催し集客交流促進	
(2)	広報紙	● 掲載内容の充実	
(3)	H P、S N S	● 掲載内容の充実、S N S 定期配信	
(4)	若者フリーペーパー	● 若い世代向けの九戸村 P R (S N S でも配信)	

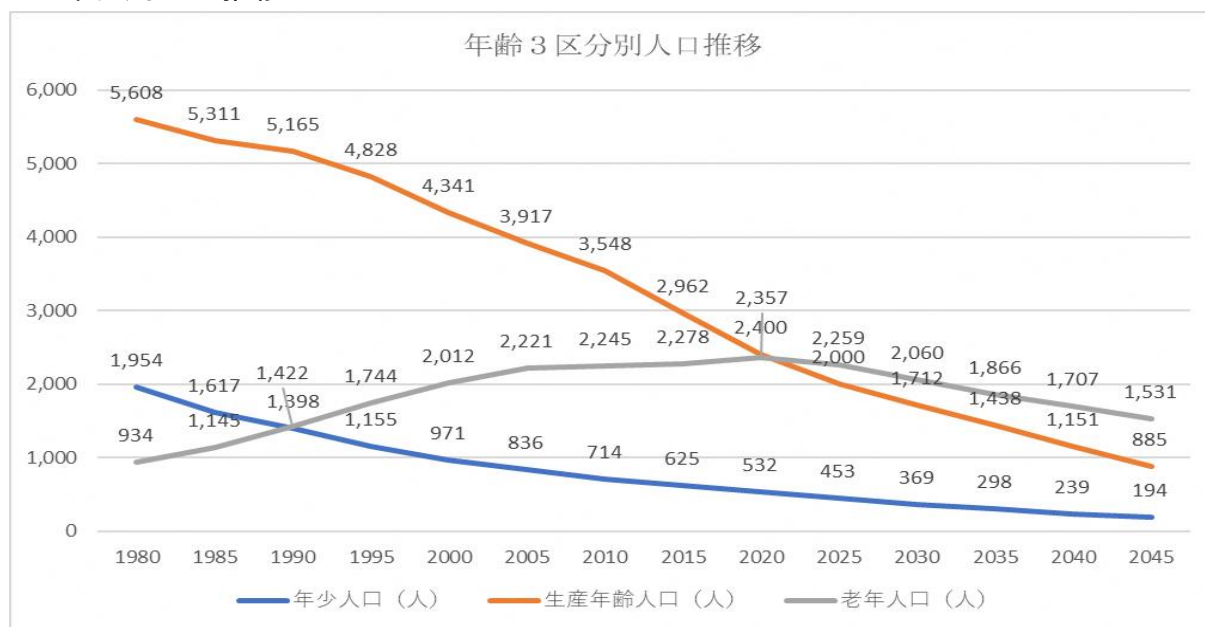
資料

1 九戸村の人口推計



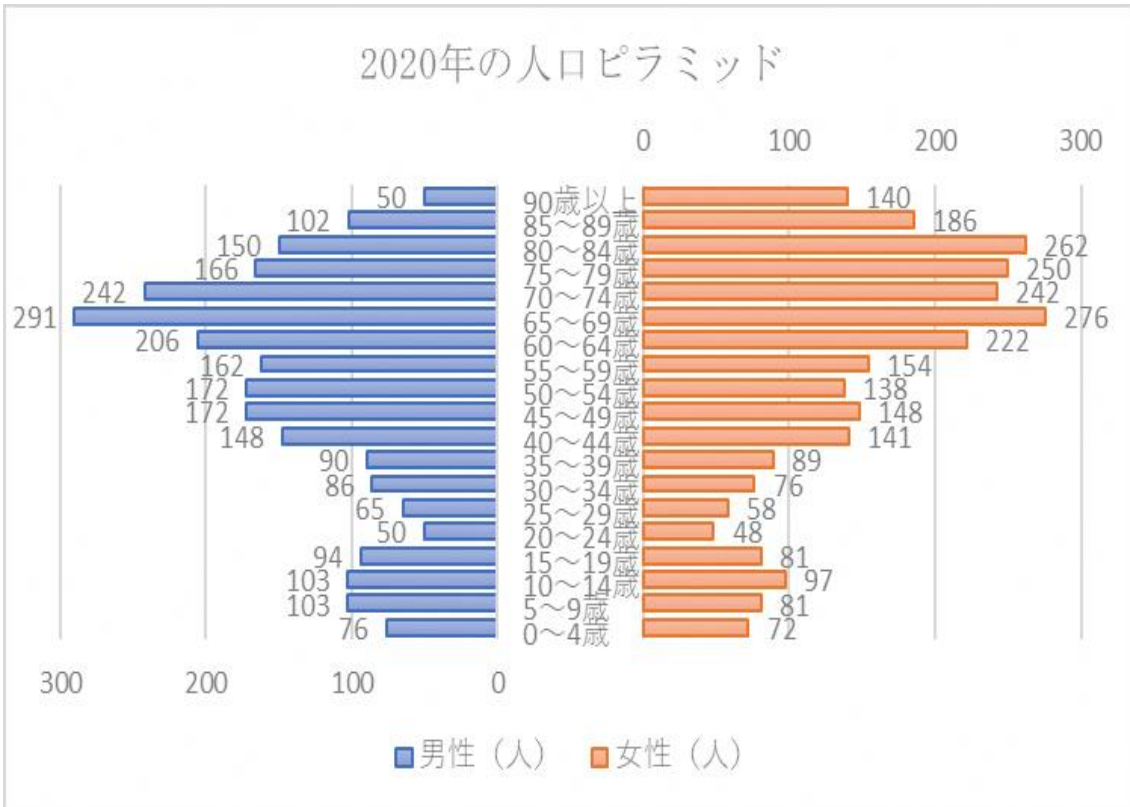
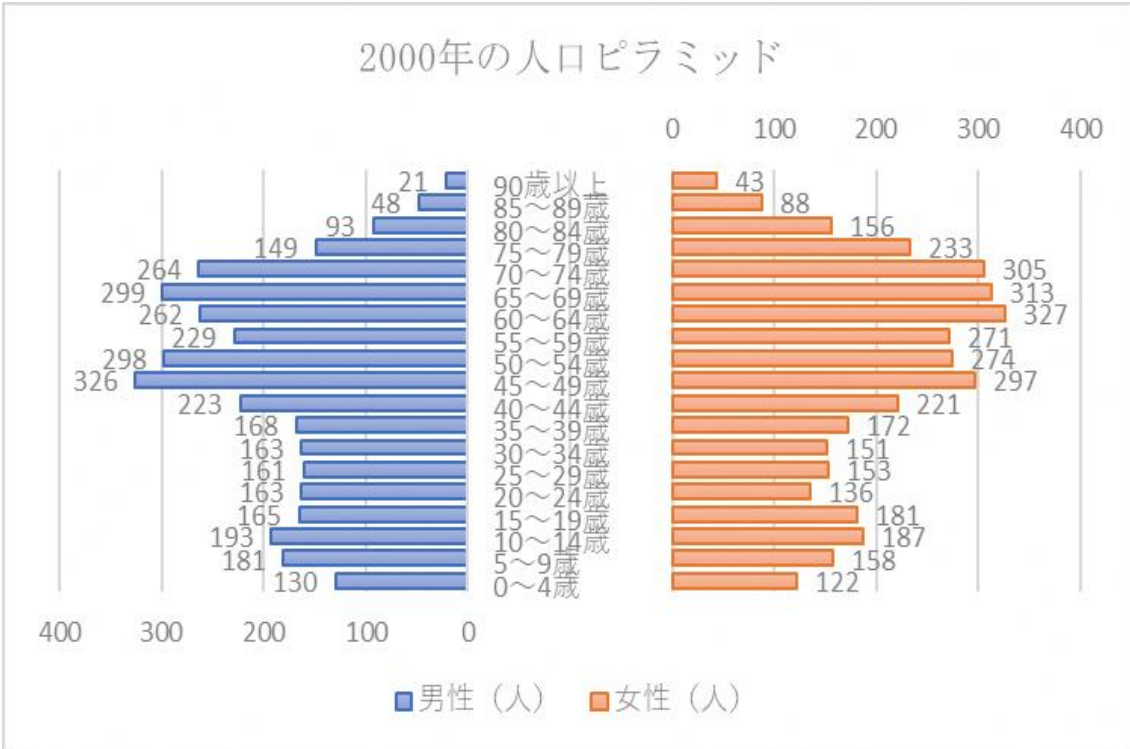
集計年	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
総人口（人）	8,496	8,073	7,985	7,727	7,324	6,974	6,507	5,865	5,289	4,712	4,141	3,602	3,097	2,610

2 年代別人口推移



集計年	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
年少人口（人）	1,954	1,617	1,398	1,155	971	836	714	625	532	453	369	298	239	194
生産年齢人口（人）	5,608	5,311	5,165	4,828	4,341	3,917	3,548	2,962	2,400	2,000	1,712	1,438	1,151	885
老年人口（人）	934	1,145	1,422	1,744	2,012	2,221	2,245	2,278	2,357	2,259	2,060	1,866	1,707	1,531

3 九戸村の人口ピラミッド



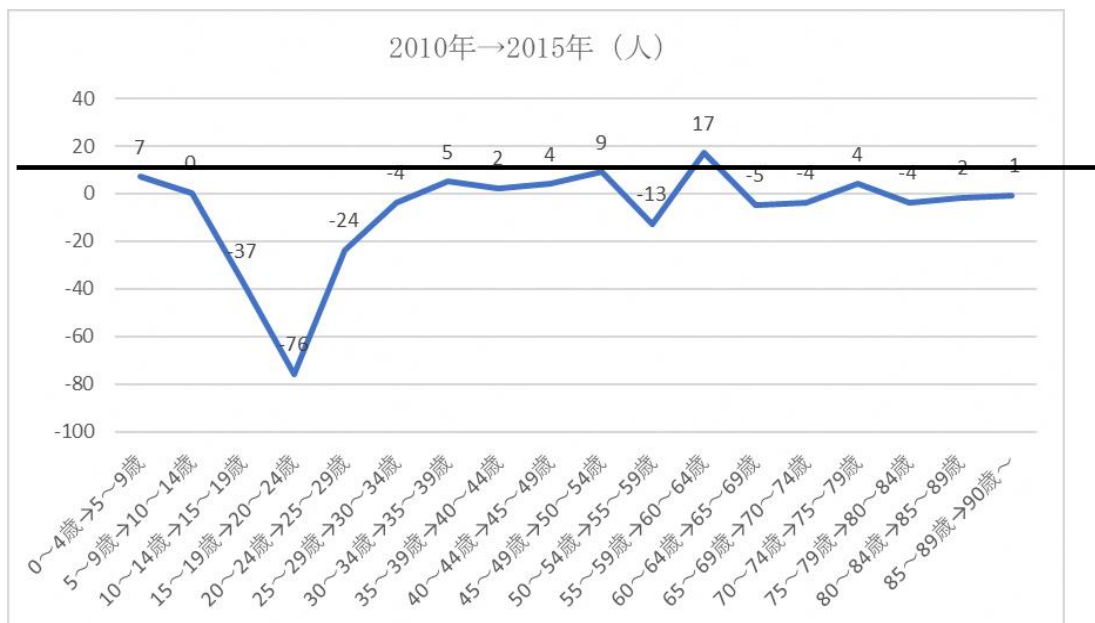
4 九戸村の年代別流出・流入状況

・男性

流入



流出

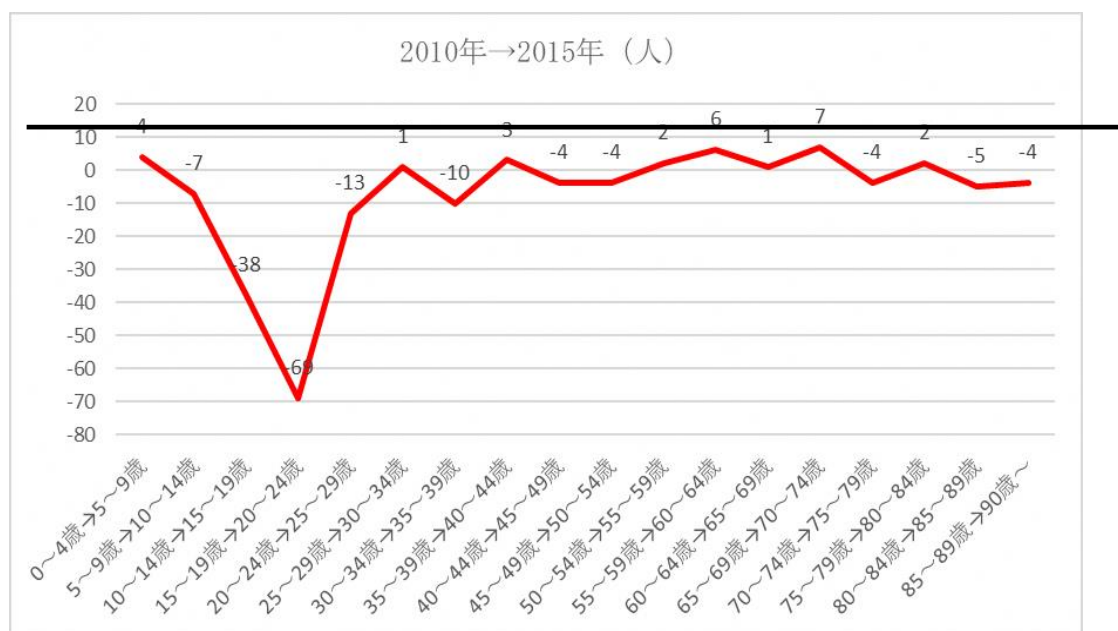


・女性

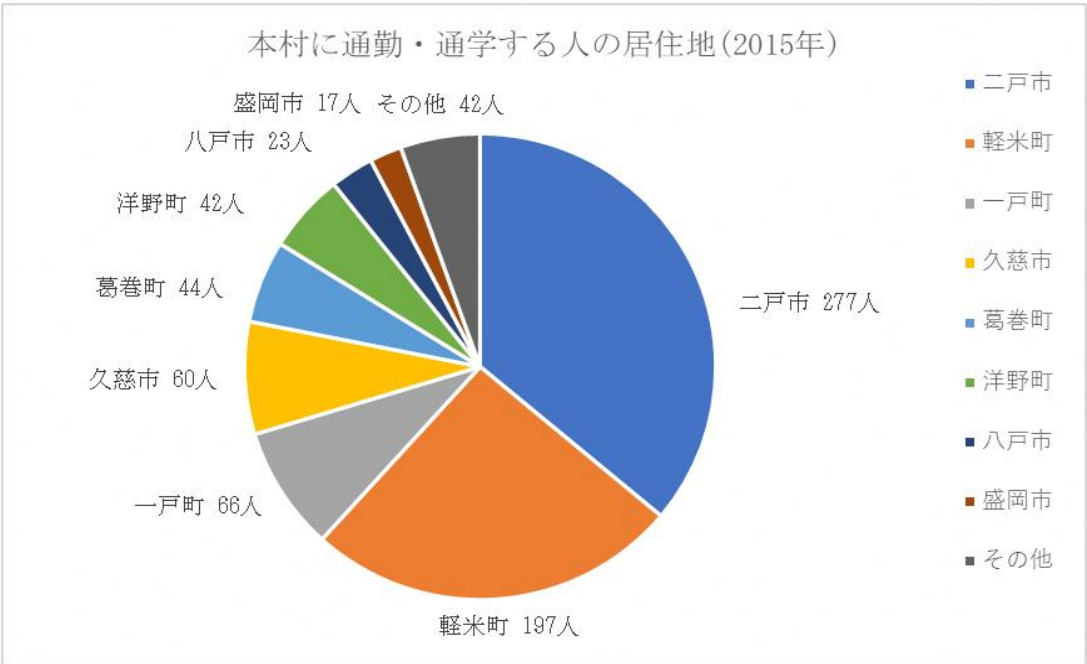
流入



流出

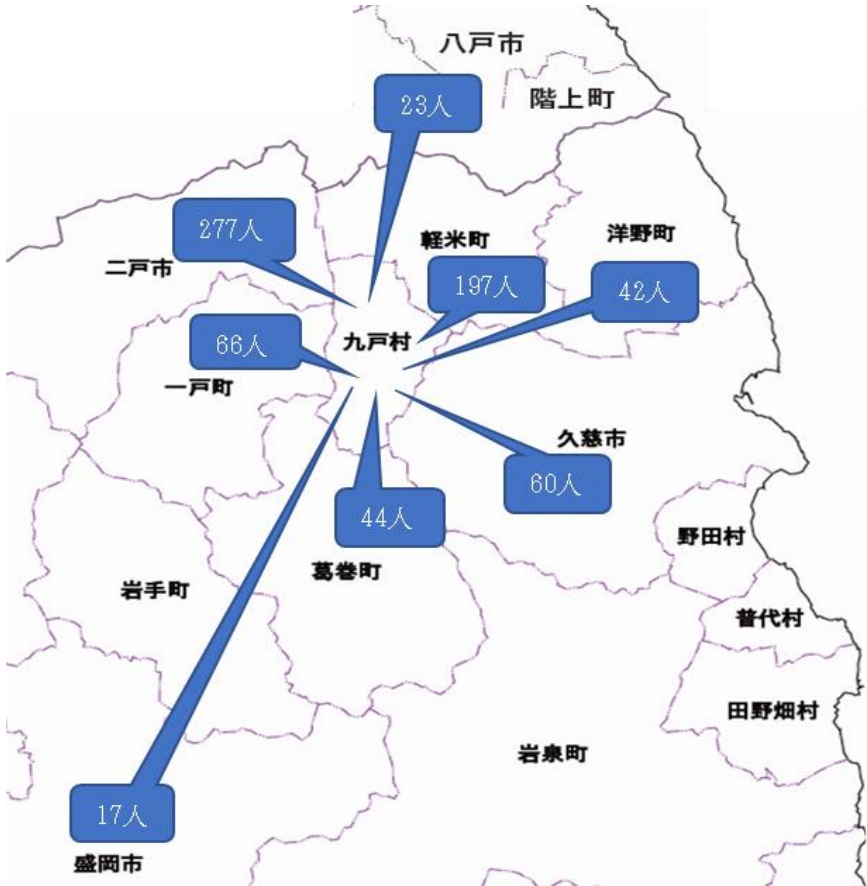


5 九戸村へ通勤・通学している人の状況（居住地）

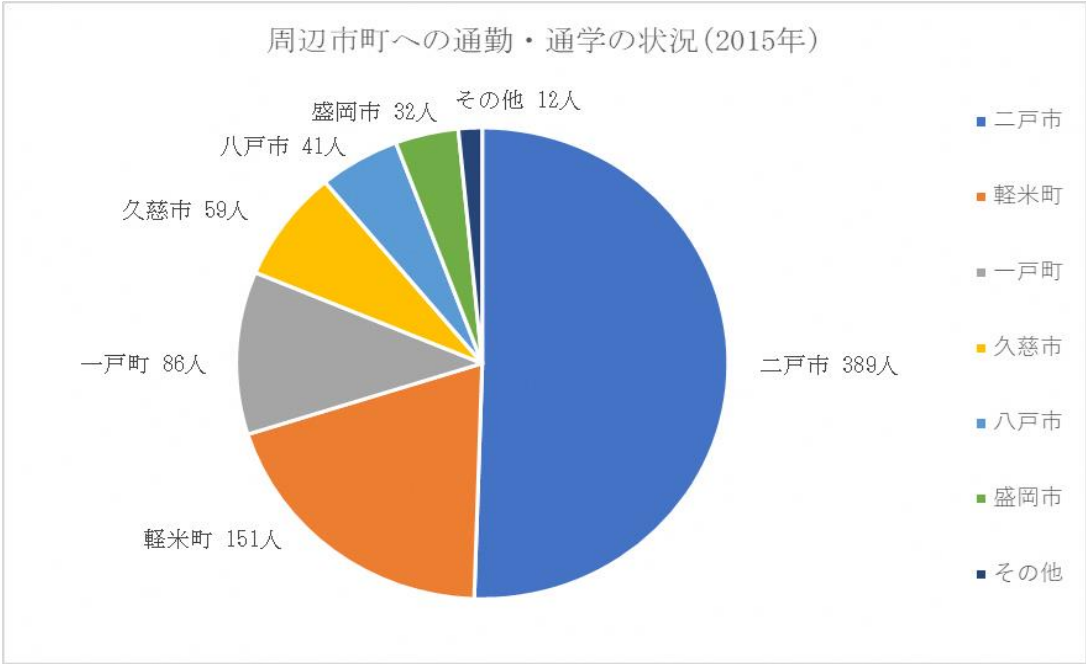


市町名	二戸市	軽米町	一戸町	久慈市	葛巻町	洋野町	八戸市	盛岡市	その他
人数	277	197	66	60	44	42	23	17	42

出典 総務省「国勢調査」



6 九戸村から他市町村への通勤・通学の状況（勤務先・就学先）



市町名	二戸市	軽米町	一戸町	久慈市	八戸市	盛岡市	その他
人数	389	151	86	59	41	32	12



7 九戸村の産業分類別従業者数

